

<b>法の基礎</b> (日本国憲法を含む)		～2017	科目コード	AH1007・ AH1030
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
4	R or SR (講義)	1年以上	菅原 好秀	



- ※すでに本科目を履修登録している方が対象の科目です。下記記載の「■講義内容」「■レポート課題」「■アドバイス」以外の項目は、p.54「法の基礎」(科目コード：AH1036、2単位)を参照してください。
- ※これから「法の基礎」を履修登録される場合は、p.54「法の基礎」(科目コード：AH1036、2単位、履修方法：RorSR)を参照してください。
- ※2017年度以前入学者で、4単位での受講を希望する場合は、履修登録用紙の右下の空欄に記入してください(履修登録は2021年11月20日まで可能)。
- ※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2019年度は開講しません(次回開講は2020年度)。
- ※オンデマンド・スクーリングは2019年度開講予定です。
- ※この科目は2022年度まで開講します。レポート提出、スクーリング受講、科目修了試験受験は2022年度まで可能です。
- ※2019年度のオンデマンド・スクーリング受講までスクーリング単位2単位(12コマ)ですが、2020年度のスクーリングより、スクーリング単位1単位(8コマ：予定)に変更となります。

## スクーリング

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	日本国憲法の基本原理	個人の尊重の意義について
2	基本的人権	社会権の意義について
3	統治機構の課題	国会・内閣・裁判所について
4	地方自治	住民自治・団体自治について
5	民法の基本原則	私的自治の原則について
6	総則	意思表示・代理について
7	物権・債権	物権・債権の種類と内容について
8	成年後見制度の概要	成年後見制度の制度趣旨について
9	成年後見制度の現状と課題	成年後見制度の現実的な問題点について
10	更生保護制度の概要	更生保護制度の制度趣旨について
11	更生保護制度の現状と課題	更生保護制度の現実的な問題点について
12	まとめ	
13	スクーリング試験	

## レポート学習

### ■レポート課題

1 単位め	日本国憲法の基本的人権について論じてください。
2 単位め	成年後見制度を説明した上で、医療行為の同意権の課題についてあなたの考えを述べよ。
3 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。
4 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

**(2017年度以前履修登録者)** 2018年4月よりレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2017』記載の課題でも2019年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。ただし、『レポート課題集2017』記載の4単位めの論述式課題に合格した方は、2単位めの課題は『レポート課題集2017』の課題で提出してください。

**(2018年度以前履修登録者)** 2019年4月よりレポート課題の2単位めが変更になりました。『レポート課題集2018』記載の課題でも2020年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

### ■アドバイス



基本的人権の制度趣旨と各人権の分類を示しながら、社会権を中心に言及してください。また、社会権で問題となった裁判事例について、判例の内容を踏まえて自説を展開してください。



成年後見制度の「後見」「保佐」「補助」の各制度趣旨、内容を示してください。また、成年後見制度における「医療行為の同意権」の課題（成年後見人には医療行為に同意する権限がない）についてあなたの考えを述べてください。



教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。